

〔No. 28〕

次の a ～ d の文は、公共測量における河川測量について述べたものである。 ～
 に入る語句の組合せとして最も適当なものはどれか。次の 1 ～ 5 の中から選べ。

- a. 定期 測量では、水部と陸部で異なる測量を行う。水部の測量は、深淺測量を水際杭と水際杭の間で行う。陸部の測量範囲は、水際杭から、 20 ～ 50 m までを標準とする。
- b. 法線測量とは、計画資料に基づき、河川又は海岸において、築造物の新設又は改修等を行う場合に現地の法線上に杭を設置し線形図データファイルを作成する作業をいう。法線測量は、路線測量の の規定を準用する。
- c. 海浜測量は、海岸線に沿って陸部に基準線を設け、適切な間隔に測点を設置し、測点ごとに基準線に対し、 の方向に横断測量を実施する。海浜測量の基準線の測量は、路線測量の の規定を準用する。
- d. 汀線測量とは、 水面と海浜との交線（汀線）を定め、汀線図データファイルを作成する作業をいう。

	ア	イ	ウ	エ	オ
1.	縦断	堤内	横断測量	直角	最高
2.	横断	堤内	中心線測量	直角	最低
3.	縦断	堤外	中心線測量	接線	平均
4.	横断	堤内	横断測量	直角	最高
5.	線形	堤外	中心線測量	接線	最低